

---

# 生道

ホルモンキング

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

生道

### 【Nコード】

N2988P

### 【作者名】

ホルモンキング

### 【あらすじ】

一人の男の生き様を描いたお話。

生きてるもん勝ち。

最後に勝った方が勝ち。

男の美学。

正々堂々。

勝負の世界でよくつかわれる言葉を私なりに解釈した作品です。

ショートショートになります。

「俺の負けだ……殺れ……」

かしくいた男と対峙した男は、刀を納め、声高らかに叫ぶ。

「殺らん！ あんたを殺すには惜しい！」

誇らしげに叫んだ男は、敗者に用は無いといわんばかりに振り返ると、その場をあとにする。

頭を垂らしたまま男は、生きている喜びを噛み締めた。

圧倒的に有利だと思っていた戦に負けたことを悔いる前に、故郷の憧憬、家族の顔、去って行った仲間たちの事が浮かんで消え、そして浮かんで消えていった。

こんなに生きている瞬間に喜びを感じたことはあっただろうか。

死を覚悟した瞬間の、恐ろしさ。

初めて感じた圧倒的な強さに、成す術もなく男は膝をつき、勝利をあきらめた。

自分に絶対的な恐怖を与えた、兵器の大きさまで自分よりも偉大であった。

そんな兵の男は、張り上げた声で勝利宣言をする。

自分が一番だと思っていた剣の道で、さらに上に行くものの背中を見上げてみる。なんと隙だらけではないか。

男の心の中にある思いが募る。

自分は敵に背中を向けるような男に負けてしまったのかと。

今なら……今なら間に合う……。

力が抜け、だらしなく垂れた右腕に今一度力を入れ、しっかりと柄を握りなおし……

「それでどうしたのですか？」

子供が、鬼を見るような眼で見上げる。

「ああ、あれはよく入ったよ……心の臓を狙ってな……あやつ、信じられない、という顔をしたまま逝ったよ……」

老人は下衆な笑い声をあげたまま、愉快そうに自らの太ももを叩いている。

「それでは卑怯者ではないですかっ！　なぜそのような恥ずべき真似をしたのです！」

「小童の分際で何がわかる……っ！」

老人は子供の襟元を絞めながら言う。

「どんなに美しく生きても、生きなければ意味がないんじゃない……。生きたのも勝ちなんじゃ……。美しいものは美しいまま死ねばいい。儂は生きたかつたんじゃ……。そしてあやつはこうして美しい話を残して死んだんじゃない……」

そう言うとき老人は襟元から手を離して、高らかに笑う。

子供はむせ返りながら、思った。

この老人の考えは、とても恐ろしいものだ。

そして子供ながらに考えた。

この老人の考えが他人に広まったら、人間の美学、倫理観、全てが崩れ去ってしまうのではないかと。

広がる生温かい感触。かかる一人分の重さ。荒い呼吸。

子供は突いていた。

護身用と渡されていた脇差しで、心の臓を、一突きにしていた。真っ白になった頭が次に認識したのは、老人の、信じられない、という顔だった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2988p/>

---

生道

2010年12月4日22時00分発行